

最新版！国際シンポジウム報告書販売のお知らせ

「認知症高齢者にやさしいまちづくり ～その実践と、アートを活用した支援にみる可能性～」を刊行します！



概要

本書では、昨年本会が開催した国際シンポジウムのテーマ「認知症高齢者にやさしいまちづくり～その実践と、アートを活用した支援にみる可能性～」で議論された内容をもとに、認知症高齢者に寄り添う支援のあり方と、今後わが国がめざすべきまちづくりのあり方などを考察しています。

同シンポジウムにおいて、英国の講師からは「“明日が楽しみ”参加型アートを用いた介護施設入所者の健康・福祉向上」と題し、英国の介護施設に生活している41万人の約7割といわれている認知症高齢者にとってのアートの有効性について説明がありました。

とくに、認知症の入居者は新しいスキルを学ぶことができることが述べられ、たとえば言葉によるコミュニケーションが難しい場合であっても、五感による刺激の機会の提供が可能となる絵画、音楽、読書や詩の朗読等のアートは不安や動揺、気分の落ち込みを和らげるアクティビティになりうることを具体例をもって説明されました。

また、日本の講師からは、自治体との協働事業による認知症高齢者のための地域ケアモデル事業として、高島平にある「ココからステーション」の取り組みを通じて、高齢者にやさしい居場所づくりと、地域のさまざまな立場の人が連携し協力し合って場を支えるための有機的な取り組みの報告がありました。

本シンポジウムで説明のあったこれらの内容をわかりやすく報告書にまとめ、本年2月に刊行します。本会ホームページの「出版物のご案内」ページ (<https://www.hcrjapan.org/book/>) からご注文できますので、ぜひご購入ください。

仕様

- ・体裁：A5判
- ・価格：700円（税込、送料別）
- ・編著者：一般財団法人 保健福祉広報協会
- ・刊行日：2020年2月21日（予定）

※「送料」と、「代金引換」もしくは「代金振込」に関わる手数料は申込者負担です。

目次（両国からの報告のみ抜粋）

【講演① イギリスからの報告】

「“明日が楽しみ”参加型アートを用いた 介護施設入所者の健康・福祉向上」

講師：マリア・パーソンズ氏
(クリエイティブ・ディメンティア・アーツ・ネットワーク理事)

- (1) イギリスにおける高齢者介護の情報
- (2) イギリスの高齢者
 - ① イギリスにおける高齢者問題
 - ② イギリスの介護施設
 - ③ イギリスの認知症の人びとの状況
- (3) 介護施設でのアートの力
 - ① 参加型アートの実践
 - ② 高齢者にとってのアートのメリット
 - ③ なぜ介護施設でアートなのか 他
- (4) まとめ

【講演② 日本からの報告】

「高島平ココからステーションの 取り組み」

講師：杉山 美香氏
(地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター
同研究所研究員)

- (1) はじめに～研究の背景と目的、方法～
- (2) 研究結果
 - ① 居場所づくりについて
 - ② 「高島平ココからステーション」の
利用状況
 - ③ 相談体制について
 - ④ 地域の社会資源とのネットワーキング
- (3) まとめ

保健福祉広報協会の公式Facebookページには 有効な最新情報が満載です！



本会では、より多くの方に対して本会の事業ならびにH.C.R.を周知し、国内外の福祉機器に関する有益な情報の提供や、福祉・介護・保健など社会保障分野の啓発・向上に資することを目的にFacebookページを設けています。

主には、H.C.R.Webサイトなどにおいて掲載している情報や、本会の関係団体が発信する情報の「シェア」、法制度の最新動向等の時事情報などを投稿しています。

今年1月に投稿した記事の例としては、

- ・ H.C.R.Webサイトから資料請求いただいた2019年展示製品紹介（2020年1月で計76点を紹介）
- ・ 国土交通省が「第13回 国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」受賞者を決定
- ・ 全社協・全国経営協が2019年12月に開催した「社会福祉HERO'S TOKYO 2019」のト

クショー部分を開催報告

・ 現場をよりよくする工夫・アイデアとしての、高齢者・障害者（児）施設・事業所の実践事例

・ 栄養バランスを考えた手軽なレシピ紹介

などがあります。

本会Facebookページや発信した投稿内容について、皆さまからの「シェア」や「いいね！」などをお待ちしています。幅広い情報源としてぜひご活用ください。

Facebookページ名

一般財団法人 保健福祉広報協会

FacebookページURL

<https://www.facebook.com/hcrjapan/>



第47回国際福祉機器展 H.C.R. 2020 開催概要

主催	全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会
後援(予定)	厚生労働省 経済産業省 総務省 国土交通省 東京都 海外参加国大使館（順不同）
協賛(予定)	NHK厚生文化事業団、読売光と愛の事業団、毎日新聞東京社会事業団、産経新聞厚生文化事業団、日本経済新聞社、東京新聞、東京新聞社会事業団、朝日新聞厚生文化事業団、福祉新聞社、日本赤十字社、福祉医療機構、鉄道弘済会、東京都社会福祉協議会、全国心身障害児福祉財団、長寿社会開発センター、シルバーサービス振興会、テクノエイド協会、日本理学療法士協会、日本作業療法士協会、日本アビリティーズ協会、日本障害者リハビリテーション協会、日本リハビリテーション医学会、新エネルギー・産業技術総合開発機構、みずほ教育福祉財団、キリン福祉財団、清水基金、みずほ福祉助成財団、松翁会、丸紅基金、三菱財団、損保ジャパン日本興亜福祉財団、中小企業基盤整備機構（順不同）
会期	2020年10月21日(水)～23日(金)【3日間】
会場	東京国際展示場「東京ビッグサイト」西・南展示ホール（東京都江東区有明3-11-1）
入場料	無料（登録制：事前もしくは当日）※一部の講座等は有料
出展社数	約500社（見込み）【国内企業・団体450社、海外企業50社】
来場者数	約12万人（見込み）※主な来場者：ケアマネジャー、ホームヘルパー、福祉施設職員、福祉団体・ボランティア関係者、医師、看護師、PT、OT、保育士、建築・設計関係者、製造業、販売業、行政、福祉・介護・医療・工学系学生、エンドユーザー、一般

